



▲写真① まつばら安全安心マップ

に備え、次のものを全戸配布
松原地区では、火災や災害
皆さん知っていますか？
皆さん知っていますか？
地域包括ケアシステム
推進委員会 新保 俊尚

●まつばら安全安心マップ
松原地区の消火栓・消火ホー
ス・防災倉庫・一時集合場所・
指定避難所を表示したマップ
(14年度版) 写真①

●地震が起きたら:
地震が起きた時の行動をま
めたもの (18年度版) 写真②

A...家で、すぐに、まず、
身を守る
B...班で、30分以内
に役割を決めて助け
る
C...班のみんなが安
全な場所に逃げる
どちらも内容が古く
なっていますので、改
訂版を今年度または、
来年度全戸配布する予
定です。

地域防災力向上のた
めの取り組み
役員の交代により積
み上げた地域防災力が振り出
しに戻ると
いう弊害を
克服するた
め、昨 years
から防災研
究会を立ち
上げ、本年
はその延長
としてアド
バイザーを
含む地区防
災三役会を
毎月開催し
、地域防災
力向上のた
め各種検討
を行っています。

避難行動要支援者名簿の
紹介と今後の取り組み
災害時及び避難行動をする
ときに支援を必要とする人
について名簿化し、町会長・防
災部長・民生委員・担当班長
にお渡ししています。支援を
必要とされる方(要支援者)
と支援者は、日頃より連携を
とり、いざというときの避難
の方法について取り決めをし
ておくことが求められていま
す。また、地震発生等により、
市から安否確認要請が出され
た場合は、これらの方々の安
否確認はセンターを通じて3
日以内に報告することが義務

6月27日には、災害時要
援護者支援プランの学習会
を開催しました。日時未定
ですが、本年度内に、避難
行動要支援者名簿に基づく
安否確認訓練を行う予定で
す。
災害弱者である要支援者
も含めた避難所運営の方法
の検討や要支援者に対する
個別避難計画の作成などは、
今後の課題になります。が、
「誰一人取り残さない社会
(地域共生社会)」を目指し、
松原地区の皆様のご協力を
よろしく願います。

ふれあいのまち

松原かわら版

世帯数 1,228 戸
人口 2,957 人
高齢化率(65歳以上) 29.3%
(令和4年6月1日現在)

地震が起きたら... 保存版
松原地区町会連合会
2018年度

各家庭の見やすい場所に保管してください

A 家で、まず、身を守る

1. 落下物から身を守る！料理中の場合、火の始末は激しい揺れが収まってから、
揺れがおさまったら、
・火の始末
・家からの脱出口を確認する
・助けが必要なら、大声で叫ぶ
・火が出たら、大声で「火事だ！」
3. 避難する時は火事を防ぐ：ガスの元栓・電気ブレーカーをOFF
4. 近隣・班内の状況を確認する
・救助を求めている人が居る場合、救出・救護する
・火が出たら119番通報を試みると共に、安全な範囲で初期消火を行う
・子ども、高齢者、障害を持つ人等が住んでいる家の安否を確認する
5. 安全な場所で外出家族の安否を確認する

B 班で、30分以内 役割を決めて助ける

班の集合場所
あらかじめ班で決めた
集合場所をここに記入

1. 地震がおさまり、家にいる家族・近隣の安全が確保できたら声を掛け合って
「班の集合場所」に集まり、以降班単位で行動する
「班の集合場所」の中から「班の統率者(原則班長)」「連絡担当」「消火担当」
「救出搬送担当」「救護担当」の各役割を決定する。
2. 班の統率者が班内の状況を把握し、救出・救護・消火を指示する
・要救出救護者がいる場合、安全を確認の上、協力して救助する。
・班内で火災が発生している場合、安全な範囲内で消火活動を行う。
・一班内で対応が困難な場合、班の統率者の指示で連絡担当は町会長へ
応援を要請する。
3. 班の統率者のもとで、班の情報をまとめ、町会長(代行者)に報告する
①火災発生の有無、要救出救護者の有無、消火・救出の応援の要否を報告
②安否確認シートの安否確認情報を報告
※安否確認情報は、在宅安否確認、不在安否確認、不在安否未確認等
これらの情報をまとめ、連絡担当が町会長へ報告する。(目安：地震発生後30分以内)
(電話不通時は、連絡担当は一時集合場所へ直接行って報告する) (裏面に続く)

▲写真② 地震が起きたら...

まつばらのできごと

5/21・6/18 “知って安心” 認知症ウィークエンド講座

認知症の仕組みや身近な方への接し方などをわかりやすく教えてもらいました。



6/6 人権・歴史研修 福島関所跡訪問



最も厳しい検問を行った4大関所のひとつである福島関について学習しました。

6/13 歴史研修 諏訪大社訪問

4つある諏訪大社を巡り、歴史や、諏訪地域に伝わる古い伝承、諏訪大社の秘密などを学びました。



6/26 町会交流スポーツ大会

3年ぶりに開催することができました。卓球、ソフトバレー、バドミントン、マレットゴルフの4種目に分かれ、楽しみながら汗を流しました。



私は松原に住んで44年目になります。今思い出せば、住み始めた当時は松林とアカシアの木が生い茂り、家はポツンと何軒かあるだけで学校に通うにも砂利道が少しだけある程度でした。自然の中で遊び、色々な体験をして育ちました。あれから約40年、開拓が進み、今ではたくさんの方が住み、素晴らしい町となりました。私の家族も4世代にわたり松原に住んでおります。たまに会う孫の笑顔を見るたびに幸せを感じる日々です。▼そんな松原ですが、今後30、50年の間に大地震が発生してもおかしくないといわれています。大切な家族・財産そして自分自身の命を守り、受ける被害を大幅に軽減できるよう、もう一度正しい認識と防災対策が必要だと思ふこの頃です。▼新型コロナウイルスの出現で今まで当たり前だった日常の暮らしができなくなり、人々の生活環境は大きく変わりました。また、地球温暖化による気候の変化で、自然災害の発生頻度も増加傾向にあるようです。私達に出来る事は、一人一人の小さな行動だけでも大切なのではないかと思います。次世代に明るい未来があるよう願うばかりです。

からくり時計

(編集委員)